

## 競技注意事項

- 1 規則 本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項によって行う。
- 2 競技場 競技場は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳およびやり投は12mm以内とする。
- 3 練習 トラックの外側を使用できるが、ホースストレートの外側（スタンド前）については使用することができない。状況に応じてバックストレート等を開放するときがある。ただし、跳躍・投てきは係員の指示により実施する。
- 4 招集
  - ① 招集所はバックストレート器具庫内に設ける。
  - ② チェック方式とし、招集所で本人が行なうものとする。完了時刻に遅れた場合は、棄権とみなす。
  - ③ トラック、フィールド内への入場は、係員の指示に従うこと。
  - ④ 招集時刻は次の通りとする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	40分前	20分前
フィールド競技（棒高跳を除く）	50分前	30分前
棒高跳	80分前	60分前

- 5 アスリートビブスおよび腰ナンバー標識
  - ① アスリートビブスは2枚を胸背部にしっかりとつけること。ただし、跳躍競技はいずれか1枚でもよい。
  - ② トラック種目では腰ナンバー標識を右腰につけること。腰ナンバー標識は各自で用意すること。
  - ③ 男子3000m、男子5000mのアスリートビブスはレーンナンバーとする。

### 6 競技について

#### 【トラック競技】

- ① 不正スタートは1回で失格とする。また、スタート時の不適切行為については、審判長より警告が与えられることがある。
- ② イエローカード（以後、YCと称す）に関して、当大会では国内ルールを適用し、次の通りに運用する。
  - (ア) TR16.5の規定によりTR16.5.1~3のいずれかの行為を行った時、YCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
  - (イ) 同一種目で2回のYCを受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの累積は、該当種目のみに適用する。

#### 【リレー競技】

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、招集完了時刻の60分前までに招集所に提出すること。ただし、男女4×100mRは8:00までとする。その後、出場者4名が招集完了時刻までに招集所にて招集を受けること。
- ② リレー競走に出場するチームのユニフォームは、4名統一した物を着用することが望ましい。
- ③ 腰ナンバーカードは4×100mRは第4走者のみ、4×400mRは第2、3、4走者がつけること。

#### 【フィールド競技】

- ① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、審判長および跳躍主任の判断により、係員が指示をする。
- ② 走幅跳、三段跳、投てき競技は試技を3回とする。
- ③ 用器具の検査は、8:00~8:20に行う。検査の対象は棒高跳のポール、砲丸、円盤、ハンマー、やりとする。

### 7 その他

- ① プログラムの訂正は8:30までに本部に申し出ること。
- ② 服装（ユニフォーム等）は、見苦しくないように注意する。
- ③ 更衣室は清潔に使用すること。貴重品の管理は各団体で行なうこと。
- ④ 使用したスタンドはきれいにし、ゴミは持ち帰ること。
- ⑤ 競技中の事故については主催者側で応急手当は行なうが、その後の責任は負いかねる。
- ⑥ 応援、観戦はスタンドで行うこと。ただし、声を出しての応援や、集団での応援は一切禁止をする。
- ⑦ 競技エリア（トラック・フィールド内）とウォーミングアップエリア（緑色の部分）に入れるのは、競技者、競技役員、生徒役員のみとする。付き添い、応援者の立入りは一切認めない。違反者はレッドカードの対象となる場合がある。

## 競技会における事故防止について

- ① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
- ② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
- ③ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
- ④ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ⑤ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。